



Instagram 始めました



山田ひときの略歴

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得



- 議会運営委員会 委員長
 - 総務建設委員会 委員
 - 議会改革特別委員会 委員
 - 新庁舎建設特別委員会 副委員長
 - 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
- 奈良県後援会平群支部長

山田ひとき

平群町議会議員 ◆

後援会会報

発行/山田ひとき後援会
広報部
令和7年2月15日発行
〒636-0914
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
Tel.0745-45-4845 FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.ken.ne.jp

町の財政状況

着実に健全化が進んでいる

令和6年12月26日付、朝日新聞の奈良版に「平群・河合町に財政重症警報」というタイトル記事が掲載され、「一定の住民サービスの低下も避けられない町の財政がかなり厳しいということを理解してもらうことが重要。引き続き取り組みなければならぬ」ということを認識してほしい」という山下知事のコメントが掲載されました。

確かに平群町の財政状況は、私が議員になった平成15年度より以前から厳しい状況が続いていました。改めて令和2年度決算の状況より、奈良県内市町村の中、特に財政状況が悪い自治体に重症警報が奈良県から発令され、本年度5年連続となりました。令和3年度には当時の荒井知事と平群町との間で「財政健全化の推進に関する協定」も締結され、起債(借金)の償還(返済)に対して一部無利子での貸付等の支援を頂き、緊急性のない・必要性の低い投資的

平群町の財政指標 (普通会計)

単位: 比率は%、金額は百万円

	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
経常収支比率	98.9	96.1	98.9	99.9	95.7	89.9	90.5	88.4
実質公債費比率 基準は25.0%以下	13.2	14.2	15.6	16.1	16.7	16.0	14.4	12.7
将来負担比率 基準は350.0%以下	219.3	216.1	225.7	241.3	222.8	183.3	156.7	140.7
将来負担残高額 地方債・公社債高・一筆立金	13,407	13,236	14,298	14,862	14,330	13,087	11,743	10,540
前年度比増減額	340	-171	1,062	564	-532	-1,243	-1,344	-1,203
備考			駅周事業					

財政指標は改善

経費の抑制等を行う事で現在、財政健全化に取り組んでいる現状です。

平成28年度以降分。経常収支比率及び実質公債費比率については参考資料) 将来負担比率は、平成19年度には270.9%でしたが、平成30年度には若干改善され225.7%になり、令和5年度決算では140.7%まで大きく改善されました。

【※因みに財政破綻した夕張市の将来負担比率は破綻した平成18年以後の平成23年度が89.1・3%であり直近の令和5年度決算では171.7%にまで改善されたとの事】

同時に、大きな事業他、建設的投資等が伴えば増加する将来負担残高額は平成19年度には126億2800万円でしたが平成30年度末には142億9800万円となり、16億7千万円増加した状況に対し、令和2年度

より増減額がマイナスに転じ、令和5年度では105億4千万円と大きく減少した結果、将来負担比率が140.7%に改善されたことが解ります。

まだまだ健全な町財政に至っていないとは言えませんが、着実に健全化が進んでいる事が別表から見えてきます。

その様な現状の中ですが、住民サービスを低下させることのない、住民負担を強いることのない町政を進め、現在『街の幸福度ランキング』(大東建託未来賃貸研究所が実施)で奈良県内自治体1位を獲得した魅力がますます発信し、より住みやすいまち、子育てしたいまちと思ってもらえる、魅力あるまちになって取り組んでいかなければならぬと考えています。

現在、平群町議会の審議の流れは、提案された議案に対して予算・決算審議等は別ですが、『本会議中心主義』として初日の本会議で審議され議決されています。しかし、国内、県内の多くの議会は『委員会中心主義』として、上程(提出)された議案を総務委員会・厚生委員会等それぞれの委員会に振り分けて付託され、調査・確認等の時間を費やし、後日委員会で審議のうえ採決され、その後、本会議(全議員)にて議決されるという流れが主流の様です。

『委員会中心主義』のデメリットとしては議会の日程に時間を要し、理事者(行政)の対応・説明時間が多く必要となり、議決まで時間がかかると考えられる事であり、メリットとしては審議に十分な時間をかけられるため、住民にとって

ても論点が明確になり、理解しやすい解りやすい議案の審議になると思われます。より公開された議会・より身近な議会・新たな議会運営を構築していく必要があり、今後、庁舎建設に伴い新庁舎建設特別委員会においても議会部分の計画をするうえで、議会運営の方向性によって、必要なスペースをどの程度、確保する必要があるのか協議するためにも重要な一因となってくると思われます。

現在、議会運営のあり方を議会運営委員会(委員長・山田)に於いて協議を進めており、令和6年12月3日の委員会で『委員会中心主義』で運営する方向で今後、協議する事が決定。12月11日の全議員による懇談会においても同様の方向性で進める事が確認されました。

議会運営 委員会中心主義に

現在、平群町議会の審議の流れは、提案された議案に対して予算・決算審議等は別ですが、『本会議中心主義』として初日の本会議で審議され議決されています。しかし、国内、県内の多くの議会は『委員会中心主義』として、上程(提出)された議案を総務委員会・厚生委員会等それぞれの委員会に振り分けて付託され、調査・確認等の時間を費やし、後日委員会で審議のうえ採決され、その後、本会議(全議員)にて議決されるという流れが主流の様です。

『委員会中心主義』のデメリットとしては議会の日程に時間を要し、理事者(行政)の対応・説明時間が多く必要となり、議決まで時間がかかると考えられる事であり、メリットとしては審議に十分な時間をかけられるため、住民にとつ

ても論点が明確になり、理解しやすい解りやすい議案の審議になると思われます。より公開された議会・より身近な議会・新たな議会運営を構築していく必要があり、今後、庁舎建設に伴い新庁舎建設特別委員会においても議会部分の計画をするうえで、議会運営の方向性によって、必要なスペースをどの程度、確保する必要があるのか協議するためにも重要な一因となってくると思われます。

現在、議会運営のあり方を議会運営委員会(委員長・山田)に於いて協議を進めており、令和6年12月3日の委員会で『委員会中心主義』で運営する方向で今後、協議する事が決定。12月11日の全議員による懇談会においても同様の方向性で進める事が確認されました。

令和6年9月議会/12月議会

一般質問 (要旨)



認知症の方の行方不明捜索について

6月議会

2023年の全国で届け出があった認知症による行方不明者は1万9039人で、うち御遺体で見つかった方は502人とのことです。

また、傾向として2012年以降、毎年増加しており、この10年間で1.8倍にもなっているとの事です。

今後、行方不明者の防止には、GPS発信機を対象者に所持して頂く等の工夫も大切になり、ドローンや警察犬による捜索も必要となるのかもしれない。

現在、平群町は、防災無線による捜索の協力依頼放送もされていますが、風向き等により、聞き取りにくい事もある防災無線。より有効的に周知するためには、行方不明者が出た場合、住民に解りやすく周知する等の工夫も必要だと思われます。

その他、消防車等のスピーカー放送を使って行政防災無線で放送した内容である行方不明者の居住地区・年齢・性別等の情報を不明者の近隣地



区住民の方々にお知らせし、住民相互の捜索意識を高め、まちぐるみで捜索し、より多くの情報提供が収集できる体制を構築する必要があると思

質問

①現在の行方不明者捜索の方法は通常どのようになされているのか?

②消防団の協力による捜索



方法は通常どのようになされているのか?

③消防車等によるスピーカー

答弁

での周知活動も有効だと思いがいかか? ④防災無線でのサイレンや音楽を流す周知方法等の工夫も必要だと思いがいかか?

①行方不明者の御家族より相談があった際、警察に届出をして頂き、捜索を希望される場合は特徴など情報開示について同意を得たうえで申請書と不明者情報を提出頂き、警察と併せて捜索を開始します。

②情報開示の意向を確認し同意のうえ消防団の招集を行っている。

③現在、消防車によるスピーカーでの捜索・周知は行っていない。今後、家族の意向があれば検討していきたい。

④現在、家族の意向があれば防災行政無線やメール配信により特徴等を町内全域に配信している。しかし、行方不明の捜索は一刻の猶予もなく地域ぐるみの捜索、情報提供が重要。引き続き様々な手法を検討していきたい。

山田ひときの指摘

申込方法の改善」が最も多く、インターネット申し込みについては、令和7年10月開始目標に県や関係課と協議している。その他、対応可能な事から改善していきたい。

平群町総合文化センター利用のアンケート調査結果について

12月議会

本年6月議会では、平群町総合文化センターの利用状況と祝祭日の開館についてお聞きしました。

その後、発送数88件、回答数54件と少ないことは少し残念でしたが、利用者のアンケート調査が実施されました。

集計結果を見ますと、「使いやすい利用時間区分は?」

1時間区分1人/2時間区分11人/3時間区分14人/4時間区分26人との結果でした。

時間区分の回答理由は、「2時間」:*スポーツ、文化活動共2時間位で終わる。

2時間区分とし、料金も少し下げると使いやすく利用者も増えると思う。*4時間では

時間が余ることがある。*2時間以内の利用が多く気軽に借りやすい。*不要な時間一部屋代が発生し、2時間区分にすると多くのひとも利用しやすくなると思う。*施設を十分活用していく方向が望ましい。

「3時間」:*2時間ではあわただしい。練習時間とそ

「4時間」:*時間に余裕があり、ゆったりとした時間を過ごしたい。*2時間の使用だが、準備、片付けを含め4時間が良い。

「利用するにあたって改善してほしい点は?」:*くじ引き後の待ち時間を少なくしてほしい。三郷町ではもっと

「利用するにあたって改善してほしい点は?」:*くじ引き後の待ち時間を少なくしてほしい。三郷町ではもっと



簡単な方策をとっている。*ネット申し込みが出来れば。*毎月決まった日時に申請受付に行くのは限られた人達でしか可能でない。月初めの受付は1団体1区分のみにしてほしい。何日分も受付している」と時間がかりすぎ。複数

質問

①時間区分についての町の考えは?

②利用にあたっての改善点要望の考えは?

③祝日開館の考えは?

答弁

①アンケート調査結果から約75%の方が「3時間から4時間区分が使い易い」と回答されている。一方で「2時間の利用区分とし、使用料も下げてほしい」との回答もあり今後の調査、検討課題と考えている。

②アンケートでは「部屋の

利便性が向上し、多くの方が、手軽に利用・使用しやすい施設となることを目指す事が住民サービスの向上になり、住民のための施設と言える。回答者数54人の内9時~17時の利用者は53人で17時~21時の夜間利用者は1人という結果も含めアンケート回答者の少数の声だけで決定するのではなく、現役世代他、利用頻度の少ない住民の意向を考慮し文化センターの運営を進めて頂きたい。

山田仁樹の一般質問



録画配信のQRコード